



おさかな瓦版

No. 44

2011.12

シリーズ：日本海のさかなたち 第5回

ハタハタ



ふーちゃんのトピックス

しょくのうかがくかんい
食と農の科学館に行ってみよう！



ふっくんのなんでもコーナー

にっこう
日光のニジマスはなぜ「たてじま」なのですか？

ハタハタ ~こっそりのんびり回遊魚~



📷 1. ハタハタ

ハタハタ(📷1)は、漢字で、「鱚」、「波多波多」、「鱒」などと書きます。文字通り、雷鳴がとどろき、海が大荒れになる真冬に、秋田県の男鹿半島では、海岸から目と鼻の先までハタハタの大群が押し寄せてきます。真冬の貴重な海の恵みとして昔から親しまれ、しょつつるなべ(📷チェック)は秋田県の郷土料理として有名です。春や秋にもとっとりけんからいしかわけんにかけては、深い海の底にいる魚を獲る「底びきあみ漁」で獲られています。

海底で砂に潜ってじっとしていることが

多い魚ですが(📷2)、大きなむなびれを広げてゆうがに泳ぐ姿も観察されています。

ハタハタの寿命は5歳くらいです。卵(📷4)は、12月に海の浅いところに生えている海そうにボールのようなかたまりで産みつけられ、2月頃にふ化します。彼らの一生はこの水深数メートルでスタートし、春か



📷 2. 砂に潜るハタハタ



あんじいの
ワンポイント
アドバイス

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

あなたは何歳？

魚の年れいは、頭の中にある「耳石」という骨のようなものを観察するとわかるのじゃ。

これは木の年輪のようになっていて、この輪がいくつあるか見ると、何歳かわかるのじゃよ。

写真の耳石は、輪が3つあるので(赤いしるし)、3歳とわかるのじゃ。



ハタハタの耳石のだん面



📷 3. ハタハタの卵のかたまり
(ブリコとよばれることもあります)

ら夏にかけて水深 200 メートル以上の深いところへと移っていきます。ふ化してから夏までは秋田県の周辺の海にいますが、次の年の春には、突じょとして日本海の各地に現れます。この間、どのように回遊しているのかはまだわかっていません。1～2 歳のハタハタは秋田県から遠く離れた隠岐諸島、若狭湾、能登半島などで見られますが、もっと大きくなったハタハタは能登半島よりも北の海で多くみられるようになります。これは、秋田県で生まれたハタハタが、えさを求めて日本海の西のあたりを回遊し、再び秋田県へ帰ってくるからと考えられています ()。

ハタハタは 1990 年代はじめにとても少

なくなり、秋田県では 1992～1995 年の間、獲ることを禁止しました。その後は、卵を保護したり、獲って良い時期や量を決めたりして、獲れる量が再び多くなっています。水産総合研究センターでは、将来にわたってずっとこのおいしいハタハタが食べられるように、年れい ( ワンポイント) やどんな生活をしているか、どれくらい獲っても大丈夫なのか、などの研究をしています。 (藤原 邦浩)



 日本海を回遊するハタハタ
日本海の真ん中にもいます



しょつつるなべ

しょつつるなべは、ハタハタと白菜などの野菜が入った透明な出汁のなべ料理です。味付けに「しょつつる」という調味料を使います。しょつつるはハタハタなどの魚をたくさんの塩に漬け、発酵させて作ります。魚のうまみがたくさん入っていて、とても良い味付けができます。



おいしそ〜♡





ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

食と農の科学館に行ってみよう！

つくば市にある「食と農の科学館」では、農業や水産業の研究が、どのように役に立っているかをわかりやすく展示しています。

水産総合研究センターも展示をしており、特にクロマグロの本物の大きさのマットは、背比べをして写真がとることができます。ぜひ家族といっしょに遊びに来てね。

食と農の科学館

〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1
 【開館時間】 午前9時～午後4時 <入館無料>
 【電話】 029-838-8980

ウェブサイト ▶ <http://trg.affrc.go.jp/>



展示コーナー

みんなであそびに来てね！



ふっくんのなんでもコーナー

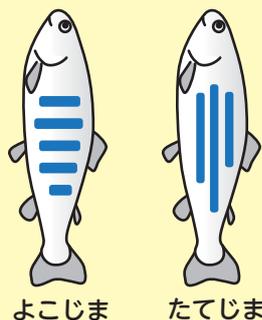
どんどん質問してね。ぼくが答えるよ！



さかなと森の観察園を見に来てくれた小学4年生からの質問です

Q 日光のニジマスはなぜ「たてじま」なのですか？

A 「さかなと森の観察園」の水槽にいたニジマスはまだ子どもで、このころは大きなはん点のもようがあるんだ。



よこじま

たてじま

これがしまもように見えたんだね。ちなみに、さかなの「よこじま」と「たてじま」は人間のよう^{あたま}に頭を上にしてしまもようを見分けるんだよ。だから子どものニジマスがにているのは「よこじま」なんだよ。



子どものニジマス



おとなのニジマス



ふーちゃん



ふっくん

： あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 No.44 (2011年12月発行)

編集・発行：独立行政法人 水産総合研究センター

質問の送り先・お問い合わせ先：広報室

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3

クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702

ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報室までハガキを送ってね。<聞きたいことの内容>、<学年>、<住所>、<名前>を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



市場で売られているハタハタ